

中川 勲 議員（代表質問）

1 ほたるいか海上観光について

- (1) 中止した理由を市民が納得できる説明を求める。
- (2) プライバシーの問題があるからはっきり言えないとのことだが、交渉は滑川漁業協同組合と滑川市の団体と団体との交渉である。はっきりとした交渉経過を説明すべきである。
- (3) 交渉の中で妥協できなかったことは何か。
- (4) 昨シーズンが終了後、関係団体と反省点・改善点等について話し合いはされたのか。また、日頃、意見交換をされているのか。
- (5) 今後の交渉はどうするのか。今シーズンあきらめずに交渉するのか、来シーズンに向けての交渉か。

2 富山湾岸クルージングについて

- (1) 昨年から始めた富山湾岸クルージングはどうするのか。
- (2) 魚津市の申し入れをなぜ断ったのか。
- (3) 運航会社とは話し合いをしているのか。

3 平成29年度予算案について

- (1) 重点事業は何か。
- (2) 行田公園整備費を平成28年度補正予算案とし、なぜ平成29年度予算案としなかったのか。また、行田公園の全体整備計画案を出せないのか。
- (3) 「ひと・まち・産業が元気なまち滑川」の実現のため選択と集中による予算編成をしたとのことであるが、市民要望に対する予算額が年々減少しているがなぜか。

4 土曜授業について

- (1) 土曜授業に対するアンケートが出ているようであるが、どう受け止めているのか。
- (2) 先生方は、土曜授業をどのように感じておられるのか把握しているのか。
- (3) 先生の負担が多いと保護者の皆さんが感じておられ、土曜授業に賛同できない方もいらっしゃるが、当局はどう感じているのか。
- (4) 先生の時間外労働時間が多いと聞くが、対応はしているのか。

5 防災・減災のまちへの取り組みについて

- (1) 糸魚川市大火は、よそ事ではないと思うが改めて防火体制への決意を伺う。
- (2) 市内においても木造住宅密集地域があるが、防災・防火・減災に対する対策は万全か。
- (3) 家屋火災が去年は1件、今年は早くも3件発生しているが、市民に防火への啓蒙が足りないのではないか。
- (4) 火災予防週間や火災発生時には、各消防分団においてサイレンを鳴らす、また、火災鎮火後には防災無線で火災場所と鎮火した旨を知らせる事ができないのか。
- (5) 昨年、富山県ドクターヘリが滑川消防署管内へ出動したのは、34回。その内の29回が消防署グラウンドに着陸しているとのことである。そのたびグラウンドにポンプ車で放水するとの事であるが、グラウンドを舗装すればその必要はないが、舗装の計画はしているのか。
- (6) 富山県から津波シミュレーション調査結果が発表されたが、どう対応されたのか。

6 中滑川駅前・滑川駅前市営住宅跡地の利活用について

- (1) 市民にこの土地をどう滑川市の活性化に繋げるか、想定してもらえる機会を作るべきと思うが。
- (2) 市民を中心に開発計画を策定すべきと思うが、当局の考えを伺う。

浦田 竹昭 議員（代表質問）

1 ほたるいか海上観光の中止について

- (1) ほたるいか海上観光の中止の決断に至った詳細な経緯、理由、並びに関係各所への影響について説明を求める。
- (2) ほたるいか海上観光、並びにキラリンの運航、並びに関係者との協議の今後の見解について説明を求める。
- (3) なぜ、定例会間際の中止の決断と発表なのか、また中止決定・判断の責任の所在はどこで誰なのか、そして関連予算が新年度予算に計上されているが、その整合性について説明を求める。

2 行田公園整備事業について

- (1) 行田公園整備事業の土地取得について、事業の必要性、並びに補正予算に計上されるまでの経緯について説明を求める。
- (2) この整備事業の基本構想、基本計画が提示されることなく、説明・議論もなく、土地の取得のみが性急に先行されるのはなぜか、また旧児童館の跡地利用も含めた行田公園整備全体の基本構想について説明を求める。
- (3) なぜ、定例会間際での説明のみで、3月補正での予算計上なのか説明を求める。

3 土曜授業について

- (1) 土曜授業の実施についての児童生徒、保護者、現場の先生方のアンケート結果に対する見解、並びに全体の講評、メリット・デメリット・効果等について説明を求める。
- (2) 土曜授業と土曜学習の認識について、保護者に説明周知されているのか、今後、保護者との懇談の機会があるのか、説明を求める。
- (3) 現場の先生方の声が聞こえているのか、また、今後の懇談予定について

て説明を求める。

- (4) 土曜授業の実施について、県並びに他市町村の評価・動向について見解を求める。
- (5) 土曜授業の市単独での今後の継続、見直しの検討、並びに土曜学習への移行を含め、土曜日の有効活用についての見解を求める。

4 鳥獣被害対策実施隊の設置について

- (1) 条例制定後、鳥獣被害対策実施隊の設置までのタイムスケジュールについて説明を求める。
- (2) 実施隊員の選任要件・要員、実施隊の組織・編成、実施隊の職務や服務等についての詳細、いわゆる施行規則の策定、並びに鳥獣被害防止計画の見直し策定について、説明を求める。
- (3) 実施隊員の人材確保、育成、市職員の有資格者の育成、並びに地域の協力体制の構築について、説明を求める。
- (4) 有害鳥獣捕獲の捕獲用具等の整備拡充の見直しについての見解を求める。
- (5) 有害鳥獣捕獲に関し、他市町との連携とりわけ捕獲後の解体処理、並びに情報の共有について見解を求める。

5 滑川市のイメージアップについて

- (1) 滑川市のイメージアップとして、博物館を中心としたイルミネーションの設置について見解を求める。
- (2) 滑川市のイメージ発信として、東福寺野自然公園並びに博物館への定点カメラの設置について見解を求める。

古沢 利之 議員（代表質問）

1 国民健康保険について

- (1) 県域化の準備が進められているが、制度改正にあたって、国保の「構造問題」として知事会などが指摘していた問題について市としての認識はどうか。
 - ア 高齢者が多く、医療費水準が高い
 - イ 所得水準が低く、保険料負担が重い
 - ウ 財政問題 等
- (2) 県域化によって解決に向かうのか。解決にはどうすればよいと考えるか。
- (3) その後の準備状況、県との協議の状況について

2 ほたるいか海上観光の中止について

- (1) 中止の理由に市民は納得していない。「プライバシーの問題があるから説明できない」では理解してもらえない。
- (2) 委託事業といっても、主体は市が行ってきた。ここに至った責任をどう認識しているのか。
- (3) 今回のことから何を教訓としてくみ取り、今後どのように事業展開していこうと考えているのか。

3 就学援助について

- (1) 入学準備金を入学前に前倒しして支給することは、検討しないのか。全国では前倒し支給が増えている。
- (2) 国は要保護児童・生徒の入学準備金の単価を引き上げた。準要保護児童・生徒への対応は自治事務。当然引き上げるべきと考えるがどう検討しているか。

岩城 晶巳 議員（一般質問）

1 のるmycarについて

- (1) 乗客人数の推移について聞きたい。
- (2) その中で乗客数に大きな変化があるルートはあるか。
- (3) 乗車ルートについて見直しは考えているとのことだが。
- (4) 小型バスの導入を考えているとのことだが。

2 屋内運動場について

- (1) 地方創生拠点整備交付金が交付されなかったその原因は理解されているか。
- (2) 申請中のスポーツ振興くじ助成は大丈夫か。
- (3) 地方創生拠点整備交付金の第2次募集に応募するとのこと。この交付金は交流人口の増加が大事であり、スポーツで交流・賑わいを創造するならば、大会の誘致や企画を全面に出してスポーツ観光とすればどうか。

3 なめりかわイメージアップ推進事業について

- (1) 去年は、女子大学生を招いて彼女らに滑川市の良さを発信してもらったが、詳しい状況と反省点があれば聞きたい。
- (2) 今年は、女子アナウンサーをレポーターとして市内の各所を訪問、体験してもらいその様子を発信するとのこと。もっと詳しく伺いたい。
- (3) これで2年目だが、1年や2年ぐらいで滑川市のイメージは浸透しない。しばらくは継続することが大事だと思うが。

4 市の遊休地について（中滑川駅前と

滑川駅前土地以外について問う)

- (1) 現在何カ所で、どの程度の広さがあるのか。
- (2) 各地区に点在している原因はなにか。
- (3) 資産金額でどの程度になるか。
- (4) 過去10年間で何カ所処分されたか。
- (5) 処分の告知方法はどのようにしているか。

谷川 伸治 議員（一般質問）

1 姉妹都市シャンバーグ市への海外派遣事業について

- (1) シャンバーグ市との姉妹都市提携20周年を迎えて、相互交流を図るために中学生20名と市内の経済団体の会員等15名を派遣し、文化交流・同世代交流・経済交流を予定されているが、派遣時期は8月上旬で計画されているのか。
- (2) 中学生と市内の経済団体の会員等のそれぞれの費用負担について、中学生は1/4負担、経済団体の会員は1/2負担で計画されているのか。
- (3) 市内の経済団体の会員等への募集の窓口はどのように考えているのか。
- (4) 参加希望者はいつごろから募集し、いつごろ締め切る予定か。

2 小・中学校における外国人児童生徒への日本語指導について

- (1) 現在、滑川市に日本語指導が必要な外国人児童生徒は、東部小学校に1名、東加積小学校に1名であるが、日本語指導者はそれぞれの学校の教員が担当されているのか。
- (2) 外国人児童生徒への日本語指導は、毎日行われているのか。また、何時間指導されているのか。
- (3) 今後、日本語指導が必要な外国人児童生徒が増えた場合、各学校ごとに対応すると日本語指導者が不足することも考えられる。例えば、A小学校では中国人の児童、B小学校にはフィリピン人の児童を集めることで、指導者の確保も少しは容易になるのではないか。

3 急速冷凍によるホタルイカのブランド化について

- (1) 急速冷凍機「プロトン凍結機」と約3トンを保管できる冷凍庫を市農村研修センター内に整備し、1年を通してホタルイカを供給するため、

“急速冷凍ホタルイカブランド確立協議会”へ運営事業を委託するが、その事業経費の内訳はどうなっているのか。

- (2) 急速冷凍ホタルイカブランド確立協議会は、いつごろ立上げたのか。また、委員の構成はどのようになっているのか。
- (3) 急速冷凍ホタルイカブランド確立協議会において、ホタルイカの通年提供に向けた事業計画を策定され、今年度のホタルイカの仕入れを行われるのか。
- (4) 1年を通してホタルイカを供給するためには、3トンでは不足するのではないか。民間業者の冷凍庫の活用も検討すべきではないか。
- (5) ホタルイカの通年提供に向けて、急速冷凍ホタルイカブランド確立協議会への事業委託は今年度で終え、平成30年度から独立した事業体となっていくのか。
- (6) 平成29年度、飲食店マップの改訂を予定しているが、ホタルイカ通年提供の飲食店も掲載する予定か。

4 滑川市の橋梁の長寿命化事業について

- (1) 平成23年12月定例会において、三浦建設課長は「滑川市が管理する橋梁は297橋あり、そのうち、スパン5m以上の橋梁は99橋、スパン15m以上ある長大橋は16橋あり、早急に補修修繕が必要な橋梁は、巡視による目視では少ないと考えている。」と答弁されている。平成24年度策定した橋梁の長寿命化計画において、補修修繕が必要な橋梁は何橋だったのか。平成28年度まで何橋の補修修繕を実施されたのか。
- (2) 平成29年度の橋梁点検調査は何橋実施する予定か。滑川市が管理する293橋全ての橋梁点検調査は、いつごろ完了する予定なのか。

尾崎 照雄 議員（一般質問）

1 観光について

- ・ ほたるいか海上観光の中止について
 - ア 現在の関係機関の状況について
 - イ 今後の関係機関のあり方について

2 教育について

- ・ 文部科学省が公表した小・中学校の学習指導要領の改定案を受けて
 - ア 英語教育の取り組みについて
 - イ 教師への負担について
 - ウ 土曜授業の見直しについて

3 防災について

- (1) 災害発生時における避難所運営マニュアルの作成について
- (2) 災害発生時避難所運営の流れについて
- (3) 避難所設営の訓練について
- (4) 防災用のドローンの早期導入を検討してはどうか。

4 地域交通について

- ・ 市長提案理由説明の中に「コミュニティバス『のるmycar』の運行体系の見直しや新たな公共交通の導入の検討を含めた「地域公共交通網形成計画」を策定する」とあるが
 - ア 運行体系の見直しについて
 - イ 新たな公共交通の導入について
 - ウ 形成計画について
 - エ アンケートの実施について

高木 悦子 議員（一般質問）

1 滑川市の健康寿命に関する市長発言について

- (1) 健康寿命の算定方法には「日常生活に制限がない期間」「自分が健康であると自覚している期間」や「日常生活動作が自立している期間」など何種類もある。それぞれの健康寿命について算定方法の概要と合わせて、平成25年度の上記3種類の男女別の全国平均と富山県平均は何歳となっているか。
- (2) 滑川市でも上記の各種健康寿命を算定しているのか。しているのであれば、平成25年度の滑川市のそれぞれの健康寿命は何歳となっているか。
- (3) 今年になって市長が「厚生労働省は健康寿命と平均寿命との差を全国平均で7年から11年と言っているが、滑川市は男性で約1歳、女性が約3歳で全国一と言われる松本市と同じになっている。」とあちこちで発言している。この発言内容は舌足らずな部分が相当に多いと考える。足りない部分を補足説明して市民に正しく伝えてほしい。
- (4) 任期が1年を切って、成果を有権者に訴えたい気持ちはわかるが、市民の誤解を招かぬように、市長は計算の基準などを正しく理解したうえで、数値は正しいものを伝えるのが政治家としての責任ではないか。
- (5) 平成25年度の数値を見ると、女性は全国平均を上回っているが、男性は逆に全国平均を下回っている。平成22年度の数値と比較しても悪化しているが、これはどのように分析しているか。

2 ほたるいか海上観光中止について

- (1) TV全国ニュースによるCM効果、宿泊客の減少など、今年度のほたるいか海上観光中止による、滑川市全体の経済的損失をどの程度と見積もっているか。
- (2) 仮に、ほたるいか海上観光が再開できなかった場合の、長期的な経済的損失をどの程度と見積もっているか。
- (3) 滑川市のほたるいか海上観光中止を受けて、近隣他市が海上観光に乗

り出す可能性は否定できないと考えるが、その場合に「ホタルイカの滑川」「滑川産ホタルイカ」のブランドに与える影響をどのように認識しているか。

- (4) 観光船取得には、富山県全体の観光を担うと考えられることから、県の補助金1000万円も使われている。逆にいえば、補助金を受けた滑川市は、富山県に対しても事業で成果を上げる責任を持っていると思うが、海上観光中止の報告はどのようになされたのか。またそれに対する富山県の反応はどうか。
- (5) 現在の運航会社に運航を委託することとなった経緯の説明を求める。
- (6) 運航会社との契約満了が3月末ということだが、契約締結日はいつか。
- (7) ほたるいかに海上観光と富山湾岸クルージングの両事業の運航を委託するのであれば、クルージングが終わるところで契約を満了し、海上観光準備時期に契約を開始する12月末を契約満了・更新時期に設定をすべきではなかったか。
- (8) 海上観光中止の背景に、滑川漁業協同組合と運航会社の株式会社シーブライトネスとの間の確執があったと聞いている。名目上、滑川市観光協会は関与をしているが、海上観光を始めとした観光事業予算のほとんどは滑川市からのものであり、漁協と運航会社の仲裁は滑川市の責任であったと認識しているが、市の見解はどうか。
- (9) 「努力する。」という言葉だけでは、これまでは「努力してこなかったのか。」と問いたくなる。来年の海上観光再開のため、早期の富山湾岸クルージング開始のために具体的に何をするのか。

3 屋内運動場の計画性の欠如について

- (1) 寄付相当額を換価すると、総額約3億円の巨大事業であるにもかかわらず、基本計画策定もされずにスタートした屋内運動場（当初は屋内野球練習場）建設事業は、行き当たりばったりの内容変更を繰り返す事態は、正常なことか。
- (2) 4億5000万円の児童館建設では児童館改築基本計画策定委員会が組織され、建物の設計構想と並行して用地の測量や造成が検討され、用地取

得と工事費の予算要求が同時期の27年3月補正予算で行われた。なぜ、屋内運動場は基本計画策定もなく、設計費の1000万円が28年度当初予算、用地取得の1255万円余が6月の補正予算と外堀から埋めるような予算となったのか。

- (3) 「華美ではなく簡素なもの」と議会に対してうそをつき、昨年8月の総務文教委員会で総額3億9500万円の事業概算額に対して、9月議会の質疑で「滑川高校の4000万円程度の練習場を想定していた。」という議会の声があったにもかかわらず、なぜまた3億円相当の設備を設けようとしているのか。
- (4) 5750万円の交付金が不採択となった場合に、地方債の交付税措置もなくなると考えてよいか。
- (5) 交付金が不採択となった場合は「財源更正の補正予算を提出する」と言っているが、5750万円の財源が国の交付金で担保されるか、あるいは滑川市の自腹となるかでは、議会による事業そのものの実施の判断が異なってくる。「財源更正」の補正予算を議会が否決した場合に、工事は止まるのか。先行投資したものが無駄となるのか。不確実な財源で議会に予算の承認を求めること自体、市民の税金の使い道の判断を任された議会に対する冒涇ではないか。
- (6) 国からの交付金5750万円が確定（内定）していないのに、工事を急ぐ理由は何か。
- (7) 1億数千万円相当額の部材を寄付いただけることが決定しているのであれば「滑川高校の4000万円程度の練習場」を全額寄付によって建設していただくことも可能なのではないか。
- (8) 行田公園の用地取得も、屋内運動場建設と同じ「計画は後回し」という手順を踏もうとしていないか。

原 明 議員（一般質問）

1 市民議会の開催について

- ・ 市民参加による議会の開催を。（青年、女性、中高年など）

2 特色ある学校づくり推進事業について

- ・ 推進事業の成果と今後の取り組みについて

3 郷土芸能活性化事業について

- ・ 郷土芸能の伝承活動の取り組みは。

4 消防、防災について

- (1) 火災発生時、サイレンによる市民への警報が統一されていない。富山県東部消防組合の状況は。
- (2) 災害発生時における各団員への連絡方法について
- (3) 滑川市内での消火栓、防火水槽の設置状況と今後の計画について

5 公園整備について

- (1) 行田公園の整備計画について
- (2) はまなす公園の整備と海岸部の一体的な整備計画を。

角川 真人 議員（一般質問）

1 コミュニティバスについて

- (1) 朝夕の利便性を高め、通勤・通学に便利な市民の足となるような取り組みはどうか。
- (2) 行きたいところがすぐにわかるような案内表示や路線図を検討してはどうか。

2 空き家対策について

- (1) まちなか居住推進事業を市内の企業にアピールし、社宅として運用してもらうのはどうか。
- (2) 宿場回廊に昔の滑川の写真を展示するなど、今と昔を見比べられるようにするのはどうか。
- (3) 空き家が多い地域に連動式火災報知器の補助を。

3 介護について

- (1) 介護予防・日常生活支援総合事業が開始されるが、サービスの質は維持できると考えているか。
- (2) おむつ購入費の助成を要介護2に拡充できないか。

青山 幸生 議員（一般質問）

・ 観光の黒字化にむけて競争戦略とマーケティングについて

- (1) ほたるいか海上観光の中止の理由が、プライバシーの問題として公表されていない。市側からの一方的な解約だと認識しているが契約上問題はないか。
- (2) 滑川市の観光について毎年、観光遊覧船運航費とほたるいか観光施設管理委託費等に当たり前のように予算がついている。市の税金を投入している以上、各事業については黒字を目指すべきと思うが市の見解は。
- (3) 「富山湾岸クルージング」「ほたるいかミュージアム」「タラソピア」「パノラマレストラン光彩」のコンセプトは。
- (4) 「富山湾岸クルージング」「ほたるいかミュージアム」「タラソピア」「パノラマレストラン光彩」の想定をしているお客様像またはターゲット層は。
- (5) 「富山湾岸クルージング」「ほたるいかミュージアム」「タラソピア」「パノラマレストラン光彩」の商品は。また最近行った新サービスや商品開発はあるか。
- (6) 「富山湾岸クルージング」「ほたるいかミュージアム」「タラソピア」「パノラマレストラン光彩」の損益分岐点は計算できているか。
- (7) 「富山湾岸クルージング」「ほたるいかミュージアム」「タラソピア」「パノラマレストラン光彩」の各事業のPRはどうか。
- (8) 質問（2）から（6）までの整合性を考えて事業にあたっているか。
- (9) とやま観光推進機構負担金の日本版DMO活動負担金150万円の具体的な概要は。
- (10) 急速冷凍ホテルイカブランド確立協議会運営事業等委託料500万円の具体的な概要は。
- (11) 平成29年度の観光について、改めて意気込みを問う。

開田 晃江 議員（一般質問）

1 観光について

(1) キラリンの運航中止について

ア キラリンの購入には、どのような補助金が入っているのか。また運航中止と補助金の取り扱いについて、どのような問題があるのかを問う。

イ 昨年12月議会に観光船の運航委託料の補正予算を議決している。2カ月後の運航直前の中止表明は、議会のみならず多くの市民を愚弄したと言える。運航直前の中止表明まで、運航会社や担当者から当局は、どのような報告を受けていたのか問う。

ウ 過去数十年にわたり継続された観光船が、例年通り運航されることを前提に予約を受け付けてきた旅館などの事業者が、市の情報提供が遅かったことに対する損害賠償請求される等の予測はしているか。また、関係業者とのトラブルは。

エ この事柄の社会的影響を見れば、運航決定は事前に発表し、責任を持って運航する必要があると思う。そこで運航計画はいつ決定するのか問う。

オ 安定的に運航された昨年度までと、今年度の違いは何か。

カ このような重要な問題は庁内会議の議題に上がっているか、役所を上げて考えるべきでは。

キ 来年は、「出直し・海上観光」何年、何月、と少しでも早く打ち出していかないと大変なことになる。遊覧船も今までの考えでは、今年の子の舞だから船内での「ホタルイカ料理」の提供を予約制で行うなど大胆な行動で魅力UPを。

(2) 観光課の設置について

ア 観光の中心が不安定になっている中、新設する観光課は、どの程度の人員配置を予定しているのか。また、どのように取り組んでいくのか。

イ 市の観光を振興するためには、専門知識を持つ人材が必要と考えるが、予算に計上されている人件費278万円はどのような業務を担う人材なのか。

(3) 急速冷凍機プロトンについて

ア 市と市内の水産業、飲食業などの関係者で作る「急速冷凍ホタルイカブランド確立協議会」は、どのような参加者で構成されているのか。

イ 機器を漁港近くではなく、農村研修センターに設置した理由はなに

か。
ウ 協議会は、ブランド確立にむけ、今後どのように取り組んでいくのか。

2 町づくりについて

(1) サイクリング道路について

ア 市内のサイクリング道路について、全体計画はあるのか。

イ 今後の整備の見通しはどうか。

ウ 現在、整備途中の中で水色の破線だけでは分かりにくい。安全のため道路に自転車のマークを書けばどうか。ドライバーにも注意喚起のため。

(2) 平成28年度に計上された観光客誘致事業費のなかの看板の予算1000万円が議決されている。しかし、今議会では繰越明許費に上がっている。予定もないのに予算だけ決めたのか、設置場所ぐらい決まったのか、経過はどのようにになっているか。

(3) 福祉の中で障害者福祉給付費や老人のための福祉のまち推進費は、どれも一本化していると説明があったが、お金の出どころも利用する市民の皆さんのサービスも福祉券として一本化するのか。

竹原 正人 議員（一般質問）

1 観光振興について

- (1) 先日、定例議員協議会において平成 29 年度組織機構再編(案)が当局より提示された。その中の一つである観光課の設置について、なぜ今のタイミングなのか。また、この翌日にほたるいか海上観光の中止が発表され、観光行政に対する不信感が懸念される中、あえて新しく課を設置する理由は。
- (2) 例年、ほたるいか海上観光シーズンには、市内のホテル、旅館、飲食店のほかさまざまな業種で観光客のにぎわいによって経済効果があった。今年は観光船の運航中止による、各業種の損失は、どのくらいと試算しているのか。
- (3) 特に市内ホテル、旅館など宿泊施設では観光客の宿泊者数の激減が予想される。何かしらの対応を考えているのか。
- (4) 観光船の中止について、関係者との調整がつかなかったことを理由に挙げているが、なぜオフシーズン中にさまざまな課題を解決できなかったのか。そして再開できる可能性はあるのか。
- (5) 更なる観光客の誘致、交流人口の拡大を目指すため、道の駅の再編を含めた、海の駅、山の駅の設置や、既存の有磯海サービスエリアの拡充として、スマート I C 化、水素ステーションの設置などの取り組みが必要であると考えているが、当局の見解は。

2 子ども達の学力・体力の向上について

- (1) 土曜授業モデル事業について
 - ア 今年度のアンケート結果をどう分析しているのか。
 - イ 次年度の実施について既に日程は決定しているが、昨年から改善された内容や対応はあるのか。
 - ウ 公欠扱いを含め、欠席児童・生徒の実態把握と検証そして対応はできているのか。
 - エ この事業は、土曜授業モデル事業としてスタートしていたはずだが、いつの間にか土曜学習推進モデル事業や土曜授業推進事業など名称

がすり替わっている。なぜか。

(2) 学校部活動について

ア 運動部、文化部ともに生徒のニーズを把握し、今後統廃合について検討していくのか。

イ 将来的に生徒数が増えない中で、今後部員の確保など、団体スポーツ競技であれば、チームとして活動ができなくなり、1つの学校単位での部の維持ができなくなる時代がくると考える。市内には中学校が2校でそれぞれのチームとして活動しているが、今後市で1つの部活動種目といった統合を考えていくのか見解を問う。

3 コミュニティバス事業について

・ 地域公共交通網形成計画策定について

ア 抜本的な見直しを図るとあるが、どのように考えているのか。

イ 現在、休日ダイヤは策定しているが、今後、児童学生向けのスクールバスの役割を含め、運行ダイヤ、冬期ダイヤなど真剣に考えて、乗車人数の拡大を図る考えはあるのか。

4 屋内運動場の建設計画について

・ 昨年から時間をかけて建設計画を立てているが、どのような計画の進め方をして現在の結果なのか。

高橋 久光 議員（一般質問）

1 滑川市の環境についての取り組みについて伺う

- ・ 公害、汚染、エコ等 一環した対策、対応について

2 年々、食の変化に伴う「食品ロス」をどう思うか。市としての今後の対応について

3 本年度の農林予算に鳥獣対策費が計上されているが

- (1) 電気柵、捕獲檻、わな等の対策効果、実績を伺う。
- (2) 捕獲された数、処理施設について
- (3) 対策、対応については、県下一円、または広域でやるべきではないか。

4 市内の中小河川(小川)に淡水魚(メダカ・フナ・コイ等)、2～3年後に(回遊魚)サケのそ上する地域としての企画、施策はできないか伺う

5 滑川市の代表的な観光、ほたるいか海上観光中止に関して改めて伺う

水野 達夫 議員（一般質問）

1 防災対策の推進について

- (1) 防災意識の高揚と地域防災力の向上を図るため、例えば、子どもたちや若いファミリー層を対象とした防災体験プログラム等、より実践的な防災訓練を開催できないか。
- (2) 自主防災組織の現時点での組織率はどうか。地域防災力を高め、地域コミュニティを維持・活性化するためにも、自主防災組織等を活用し、平成26年4月に創設された「地区防災計画制度」の取り組みを推進すればどうか。
- (3) 地域の防災力を活性化するためにも、防災士の増員は必要不可欠である。魚津市は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」において、平成28年度より5年間で約50人の防災士養成を掲げている。滑川市の防災士養成に対する見解及び支援策についてどう考えているか。

2 中滑川駅周辺の土地利用計画について

- (1) 今年度当初予算に計上された駅前再開発事業調査費100万円の執行状況はどうか。
- (2) 新年度当初予算に計上された駅前再開発事業調査費100万円では何をするのか。
- (3) 土地利用基本構想を策定する上で、例えば、ゾーニング(案)を事前に提示し、市民の方々から意見を吸い上げる場を早急に開催すべきだと思うがどうか。

3 滑川漁港周辺の活性化について

- (1) 滑川漁港に隣接する老舗のかまぼこ屋が2月末で廃業されたが、このことに関する市の見解はどうか。
- (2) 平成27年9月定例会において、新たな地域資源として提案したダイビングスポットの整備に関する現状はどうか。

- (3) 深層水の利活用に関して、何をどう研究するのか。例えば、平成27年12月定例会においても提案した水産振興補助金制度等を構築し、取水管沿線の土地利用を活性化させることはできないか。
- (4) 平成27年11月に市議会公共施設のあり方検討特別委員会より提出した提言書に記載された「滑川漁港周辺の一体的な再生整備計画」を策定することはできないか。
- (5) 滑川漁港周辺の活性化に向けて、外部人材の活用(例えば、地域おこし協力隊)を考えてはどうか。